富良野看護専門学校　広報誌

看心ふらの

第　4　（　63　）号

発行日　令和４年３月 30 日
発行者　富良野看護専門学校

コロナ禍で過ごす日々

新型コロナウィルス感染症のまん延から 2 年間が経過し、講義、実習の時期･内容･方法の度重なる変更を繰りかえした令和 3 年度も終了しようとしています。感染対策をとりながら、対面またはリモートでの授業方法をとり、学びを止めない方針で過ごしてきました。中止していました特別講演、学年間の交流を復活させつつあります。次年度からは多様な方法での学習方法を検討していきたいと予定しています。

令和 3 年度卒業式を 3 月 4 日に挙行いたしました 29 名の卒業生はそれぞれの希望する医療現場へと巣立ちました。臨地実習体験が少ないことから、コミュニケーションへの不安、日常生活援助技術の未熟さを自覚し、看護師としての職業人生をスタートします。コロナ禍で医療態勢がひっ迫する中、臨地実習を受け入れてくださいました実習施設の皆様に心から感謝いたします。引き続き、卒業生の成長を温かく見守って頂きたいと思います。

3 月 25 日、第 111 回看護師国家試験の合格発表があり、「全員合格」でした。とてもとても嬉しい日となりました。本当にありがとうございました。

「看心ふらの4号」では、後期の 1 年･2 年の講義･実習の様子についてお知らせいたします。　（校長　澤田）

1 年生　主な学習内容

10/6、7　看護技術発表 → 11/1 ～19　基礎看護学実習Ⅰ－② → 2/14～25　基礎看護学実習Ⅱ → 3/14～技術演習

基礎的な看護技術発表

↑リモートでの授業です。講師の先生から説明後、学内の教員の指導で初めての血糖測定を行いました。

初めての臨地実習（分散･変則実習）

↓　11 月の臨地実習後、病院実習で看護できることを楽しみに学習していましたが、学内実習へ変更になりました。クラスで練習を行い学内実習に臨みました。

← 練習中
本番 ⇒

基礎看護学実習Ⅱの目的は入院や疾病が日常生活に及ぼす影響をアセスメントし、対象のニーズに合った援助を実践するための観察力と判断力を養うことです。

オミクロン株猛威をふるう！学内実習へ変更

今年度の基礎看護学実習Ⅱは学内実習となりました。病棟をより実感できるように実習室に患者様の病室を再現しました。本実習では患者様の療養上の環境と模擬カルテから情報収集を行い、看護過程を用いながら必要な援助を考えていきます。そして、考えた援助を実践するために行動計画の立案を行い、各チームで技術練習を重ねました。援助の実践ではチームワークと患者様を観察し、状態を判断する力の重要性を深く学ぶことができたと想います。この学びをこれから出会う患者様に活かせるように日々努力する姿勢を忘れずに、学習を積み重ねてほしいと思います。　基礎看護学実習Ⅱ担当教員　長尾奈央子

1 年間を振り返り

今年から富良野に来て、新型コロナウィルス感染症の影響で制限のある中での学校生活でした。友人もできて皆で協力して 1 年を乗り越えることができました。2 年生になっても更に頑張っていきたいと思います。
矢澤　優花さん

今年も去年に引き続き、新型コロナウィルス感染症の影響で感染に注意しながらの生活をしなければならず大変だった。しかし、休校などなく学校生活を送ることができて良かった。2 年生でも先輩として頑張っていきたい。
武田　朋也さん

看護学校に入学して、新たな友人と新たな環境で学ぶことにとても不安でしたが、現在はあたらしいことにも慣れて、あっという間に 1 年が過ぎようとしています。2 年生になっても充実した生活を送っていきたいです。
大坪すみれさん

2年生　主な学習内容

9/13～10/1　成人看護学Ⅰ実習 → 1/31～2/10　成人看護学Ⅱ実習 → 3/7～10　成人看護学Ⅱ実習 → 3/14～技術演習

臨地実習（分散実習）

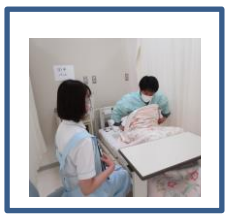
１月上旬からオミクロン株猛威をふるう！実習時期･方法変更し、学内での実習となりました。

成人看護実習Ⅱ　1月31日～2月10日（2週間）、3月7日～10日（1週間）

2月24日から開始予定でした成人看護学実習Ⅱは、コロナウィルス感染症のまん延のため2月中の臨地実習は中止としました。その後富良野地域での感染状況から学内実習へと変更し、カリキュラム上2月と3月とに分けての実習となりました。期間が空いたことによるデメリットの意見が多数ありました。貴重な意見として今後に活かしたいと思います。よく頑張りました！！

成人看護学Ⅱを終えて　成人担当教員　田中文雄

今年度も成人看護実習Ⅱは新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、日程を一部変更し学内実習で展開しました。急性期事例を用いて看護過程を展開し、教員や後輩を患者役に演習を行うなどの工夫をしながら成人期の対象の疾患や看護を学習しました。学生は仲間同士で意見交換を重ねながら協力して学習や技術演習に取り組み、様々な学びをえる機会となりました。この学びを3年次の学習に役立てて欲しいと思います。



1年間を振り返り

今年も新型コロナウィルス感染症の影響により病棟よりも学内で実習することが多かったです。しかし、学内実習でたくさんの知識を身につけることができたので、3年次に活かしていきたいです。

畠山　優里さん

私がこの1年で強く感じたことは、時間の大切さです。多重課題をいかに効率よくおこなうか、少なく感じた時間に余裕をつくるように考えていました。3年生ではさらに課題が増えるので時間を上手に使いたいです。

千葉　綾さん

2年を終え、今年も新型コロナウィルス感染症であまり病棟に行くことができず、3年生になることにたくさん不安ありますが、看護の知識と技術を身につけ、クラスのみんなで各論実習や国試を乗り越えたいと思います。

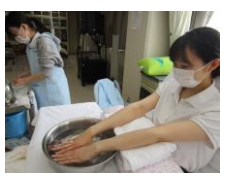
中田愛結香さん

1年･2年合同技術演習　3月14日（月）～18日（金）

「1･2年生合同技術演習」を今年も行いました。卒業期までに修得することが求められている看護技術項目が71項目あり、年度末に看護技術習得とレベルアップを目指して実施しています。臨床で実践する機会の多い技術、または実習での経験は困難でも、学内での演習を通して経験することで、卒後の不安を軽減することにつながっています。コロナ禍でクラスや異学年の交流もほとんどありませんでした。今回の合同演習は、お互いに刺激となり自分自身の成長にプラスになったと感じた学生が多くいました。

合同演習企画担当　佐々木政美

14日	2年	コミュニケーション技術演習
15日	2年	新生児の沐浴
16日	1年	コミュニケーション技術演習
	2年	・ネブライザーを用いた気道内加湿 ・気管内吸引・簡易血糖測定 ・人体へのルスクの大きい薬剤の暴露
17日	1･2年合同	・足浴　自動・他動運動の援助・手浴　ハンドマッサージ・インシデント、アクシデント発生時の報告
18日	1年	・入･シャワー浴の介助･整容　・膀胱カテーテル留置 ・車椅子移乗介助・移送　・酸素吸入療法
	2年	・止血法の実施　･検査の介助（腰痛穿刺）･経皮外用薬（貼付剤･軟膏塗布など）・薬剤管理（麻薬・向精神薬）



鈴木恭子教務課長　定年退職！

定年という人生の節目を迎え、この度退職することになりました。先日、学生の皆さん、教員から「送る会」をして頂き感謝申し上げます。ありがとうございました。7年前富良野の地を踏み、四季の移り変わりが美しい中で過ごし、心なごむこともありました。富良野看護専門学校の学生の皆さんは素直で明るく、勉強熱心であると思います。そのメリットを活かして巣立ち「素敵な看護師」として活躍されることを願っています。

鈴木　恭子

第2の人生は看護師として現場に戻ります。

学生会主催「お別れ会」

3月18日